

全国地名DBに収録されるトータルデータ ファイル仕様書

緯度経度付き全国地名データファイル（町丁目代表点別・標高付き）

ファイル名	J_i_p .csv	
項目	属性桁	説明
住所コード	11	上2桁：都道府県コード（前ゼロあり） 3～5桁：市区郡町村コード 6～8桁：町・大字・通称コード 9～11桁：字・丁目コード
分割枝番コード	3	飛び地等が存在する場合にその数だけ分割枝番あり
住所：都道府県	10	
市区郡町村	26	
町・大字	36	
字・丁目	24	
X座標（経度）	9	XXX.XXXXX（10進表記、前ゼロあり）
Y座標（緯度）	9	YYY.YYYYY（10進表記、前ゼロあり）
標高	4	m未満、四捨五入（1桁目:符号-）

《仕様の詳細》

◇基本データ（町丁目代表点ファイル）について

- 当該データは、国土地理院発行の1/25000 地形図を基に、国際航業株式会社が各市町村への調査および独自調査を行い構築した、都道府県単位の町丁目・大字界地図データ（PAREA-Town）の行政界ポリゴンデータを使用し、内部に存在する任意の座標点データで、その座標値の属する行政界ポリゴンデータの所在地を住所として表記しています。
- 調査・作成時点において「字境界不明」「小面積の為データ化不可」等の理由で、行政界ポリゴンデータとして確定できない町・大字・丁目についても、位置のみ特定できたデータは収録しています。
- 町丁目・大字界地図データ（PAREA-Town）は、（公財）国土地理協会発行の『全国町・字ファイル』と照合してデータを作成しています。但し、「字境界不明」「小面積の為データ化不可」等の理由、またはその他の事由（旧地名、通称名等）で、全ての町・大字・丁目データを表現・収録できておりません。
- 飛び地等によって同一町・大字・丁目に複数のポリゴンが存在する場合、分割枝番収録を行っております。
- 座標値は、緯度および経度を度単位の小数に置き換えたものを採用し、小数第4位までの数値です。

◇標高データについて

- 基本データ（町丁目代表点ファイル）の位置を、国際航業株式会社が構築した10m等高線データ（PAREA-View10）『「数値地図50mメッシュ標高（国土地理院発行）を用いて作成』』を使用し、標高値を内挿計算（共一次式、距離重み付き平均、最近隣法など）により算出・処理をして、メートル単位で作成しています。